Ⅱ　事例研究

1　地域のネットワークでつくる活動事例

学びを楽しみ 学びを支え 地域をつくる　～北光(ほっこう)クラブの取組～

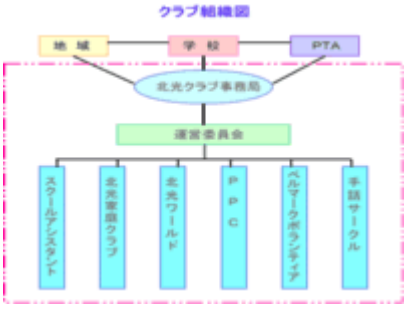
鹿沼市立北小学校施設を拠点に、学校からの教育支援の依頼に対し、その目的に応じた人材のコーディネートやチャレンジスクールの企画・運営などをとおして、地域の方々や子どもたちが心豊かに活動できるよう支援している組織

関わっている人＜幼児、小学生、中学生、高校生、大学生、青年、成人＞

☆活動名　　学びで地域を創る　～学校を生かしたコミュニティづくり～

【活動の趣旨】　生涯学習をとおして心豊かな大人のいる地域をつくり、その地域で心豊かな子どもを育てるため、小学校施設を活用して、地域の人々や保護者がサークル活動（生涯学習）をしたり、休日にはそのサークル活動の中に子どもたちを受け入れたりしている。

【クラブ組織図】



【対象・人数】　主に鹿沼市立北小学校全児童５６４名および学区内全住民

【始めるきっかけ】　北小学校では早い時期から地域人材の活用をすすめており、多くの地域人材が授業に関わりをもってきた。やがて、それらの人材は、当時の校長をはじめとした教職員の働きかけに応じて、1977 年にはスクールアシスタントを、翌年には家庭クラブを結成した。2000 年に入ると、様々なサークル等が発足して活動が活発になり、同年４月に、４つサークルをネットワークした北光クラブが発足した。

【広報のしかた】　印刷機のみ学校に借りている。募集チラシおよび北光ニュースを北小学校の全家庭および教職員に配布、学区自治会には住民に回覧してもらっている。

【活動内容】

①サマースクール

夏休みに開催する子ども向け講座（一部親子向け）で、1999 年から始まる。北中学校のボランティア委員会の全面的支援を受けたり、作新学院ボランティアセンターの高校生の企画立案による講座が開設されたりしている。

当初は、わずか４講座であったサマースクールも、今では「ワールドクッキング教室」や「寺子屋」など２５講座にも拡大し、子どもたちに豊かで貴重な体験の数々を提供している。

②チャレンジスクール

学校週５日制の実施に伴い、子どもたちが休日を有効に活用して充実した時を過ごせるようにと、2002 年６月より始まる。子どもたちがどんなことに興味・関心があるかを把握し、それをもとに、地域で何ができるかを話し合い、実施する内容を決めている。

③授業支援

先生方と一緒になって授業づくりを行っている。指導者になる地域人材を紹介したり、日ごろのサークル活動で培った力をもとに授業の指導者になったりもする。

【成果と課題】

①地域のネットワークの核となっている。

子どもをキーワードにして、地域の教育力をネットワーク化

②ネットワークを生かした子どもの教育（学校教育）を支援している。

地域住民の学んだ成果を生かし、子どもの教育の充実と自らの学びを拡大

③地域住民の生涯学習の推進役となっている。

各種の行事等を通して、地域住民の学びの場や学んだ成果を発揮する場を保障

課題：地域の教育力への信頼、住民と学校・住民同士の信頼関係をどう築いていくか。

☆これから始める人へのメッセージ
学びを楽しむ　～すべては、自ら学ぶことから始まる～

北光クラブ事務局

代表者　　渡邉　真知子

所在地　　〒322-0062
鹿沼市泉町 2457　鹿沼市立北小学校内

電話／FAX　0289-62-3421／0289-64-3154

E-mail　　hokko-club@mua.biglobe.ne.jp

ＵＲＬ　　http://www.10.ocn.ne.jp/~hokko/